

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



イマジン ロータリー

会報

留萌ロータリークラブ会長目標

ロータリーの未来

~ The Future of Rotary ~

2022 ▶ 2023 WEEKLY REPORT

会長 / 申橋 伸幸 幹事 / 青山 貴幸

プログラム

- 本日
来賓卓話「政治が果たすべき役割」
北海道議会議員 浅野 貴博 様
- 次週予定
来賓卓話 留萌商工会議所青年部
会長 川村 忠 様

【第35回~第38回 合併号】

No. 2956 第35回 5月31日

出席報告

前例会

会員総数.....25名
出免会員.....5名
出免出席.....4名
基準会員出席.....19名
出席率.....79.16%

例会 / 毎週水曜 12:15~13:15

2022~2023年度 第2510地区第1グループIM

開催日：令和5年5月21日(日) 羽幌サンセットプラザホテル ホストクラブ：羽幌ロータリークラブ

13:30 登録開始
14:00 開会の挨拶 石川 I M 実行委員長
点鐘 忠津ガバナー補佐
国歌斉唱
ロータリーソング / 奉仕の理想
四つのテスト 実藤 吉信
物故者への黙祷
歓迎の言葉 羽幌 R C 平山 会長
来賓・クラブ紹介 忠津ガバナー補佐
ガバナー補佐挨拶
14:10 来賓祝辞 羽幌町副町長 鈴木 典生 様
RI2510地区ガバナー 石丸修太郎 様
14:20 記念講演
「自然保護で人作り、街作り、地域作り」
羽幌シーバードフレンドリー協議会
会長 浅野 孝 様
15:00 ガバナー講評 石丸修太郎 様
次年度ガバナー補佐紹介 忠津ガバナー補佐
次年度ガバナー補佐挨拶
深川 R C 成田 雅敏 様

今年度ガバナー補佐へ記念品贈呈
直前ガバナー補佐 鈴木 康伸 様
15:30 閉会の言葉 I M 副実行委員長 船橋 隆宏
点鐘 ガバナー補佐 忠津 章
諸事お知らせ I M 会場監督 小河原 靖
=交流親睦会=
15:50 開会の言葉 I M 実行委員会
懇親交流委員長 蛭名 修
乾杯
留萌ロータリークラブ 会長 申橋 伸幸 様
アトラクション / 民謡
最高師範 久野絹 枝 様
17:20 閉乾杯
深川ロータリークラブ 会長 佐藤 幸治 様
17:30 閉会の言葉
I M 実行委員会懇親交流副委員長
有海 曜

第35回 5月31日(水) 天候/晴

プログラム

- 本日
来賓卓話 留萌商工会議所青年部
会長 川村 忠様
- 次週予定
会員卓話「我が生い立ち」
吉川淳一郎 会員

【第35回～第38回 合併号】

No.2957 第36回 6月7日

出席報告

前例会

会員総数……………25名
出免会員……………5名
出免出席……………5名
基準会員出席……………19名
出席率……………76.00%

例会/毎週水曜 12:15～13:15

🖋️ 会長報告 ……………

1. 5月19日第12回定例理事会を開催しました。
6月プログラム、最終夜間例会の計画書並び
に予算書を承認致しました。残り4回の例会
で私の年度が終わります。最後のひと踏ん張り、
皆様よろしくお願い致します。

- 浅野様、本日はよろしくお願ひします。
西原 会員
- 浅野道議、ようこそ留萌ロータリークラブへ。
関野 会員

前 回 774,000円
今 回 13,000円
累 計 787,000円

📁 幹事報告 ……………

- 滝川ロータリークラブ、芦別ロータリークラブ
より、6月例会プログラムが届いております。

📖 プログラム ……………

来賓卓話「留萌管内の元気が北海道の元気」
北海道議会議員 浅野 貴博様

😊 ニコニコBOX ……………

- 浅野道議、ようこそ留萌ロータリークラブへ
お越し下さいました。本日の卓話よろしくお
願ひ致します。 串橋 会長
- 浅野道議、本日は楽しみにしています。
武田 エレクト
- 浅野道議、本日はよろしくお願ひします。
青山 幹事
- 浅野道議、本日はよろしくお願ひします。
燕 副会長
- 誕生日ありがとうございます。 山本 会員
- 浅野道議、お忙しい中御出で頂きありがたう
ございます。 高橋 会員
- 浅野道議、本日はありがとうございます。
田中(卓) 会員



プログラム

- 本日
会員卓話「我が生い立ち」
吉川淳一郎 会員
- 次週予定
「理事役員退任挨拶」

配偶者誕生日
宮尾美穂

【第35回～第38回 合併号】
No.2958 第37回 6月14日



会員総数	25名
出免会員	5名
出免出席	4名
基準会員出席	18名
出席率	75.00%

例会 / 毎週水曜 12:15～13:15

📝 会長報告

1. 川村裕之会員の入会式を行います。

入会式・新会員紹介

川村 裕之 会員 昭和34年生まれ(63歳)
留萌市本町4丁目1-2
有限会社 川村 代表取締役
家族構成：奥様 るみ子さん

ん子供、多くの方の参加を希望いたします。よろしくお願ひします。

🗨️ ニコニコBOX

- 会長職最終月です。皆様、最後までよろしくお願ひします。川村さん、入会ありがとうございます。 申橋会長
- 本日の例会、宜しくお願ひします。川村会員ようこそ留萌クラブへ。楽しくやりましょう。 青山幹事
- 川村会長、本日の卓話楽しみです。 武田エレクト
- 川村会長、本日の卓話、宜しくお願ひします。そして、川村会員留萌クラブご入会ありがとうございました。ダブル川村でご縁がありますネ。 燕副会長
- 川村会長、ようこそ留萌ロータリークラブへ。 関野会員
- 青年部の皆さま、ようこそ留萌ロータリークラブへ。 辻本会員
- とても良い事がありました。 大嶋会員
- とっても良い事がありました。 吉川会員

👤 幹事報告

- 2022～2023年度国際人道支援事業報告会の案内が届いております。参加してみたいと思われる方は、回覧の中に文章がございますのでご覧ください。
- 羽幌ロータリークラブ、赤平ロータリークラブ、深川ロータリークラブより、5月会報が届いております。
- 羽幌ロータリークラブ、深川ロータリークラブより、6月の例会プログラムが届いております。

👥 委員会報告

親睦活動委員会 大嶋委員長
すでに皆様にはFAXを流させていただいておりますが、6月28日の今年度最終夜間例会・会長幹事をねぎらう会を開催いたします。奥さ

前回	787,000円
今回	10,000円
累計	797,000円

 3分間情報……………

田中(卓)委員

先月から3分間情報で、会員以外の方へのおしらせとして、ロータリークラブとは何をしているクラブか、ということをお話出来るように情報を提供させていただきます。

ロータリーの活動紹介、母子の健康についての持続可能なプログラムというテーマです。毎年世界で5歳未満で命を落とす子供が推定で約590万人おります。その原因が栄養失調、適切な医療や衛生設備の欠如など、どれも予防が可能なものばかりです。要望可能なことの原因で母と子供が命を落とす原因があってはならないと私たちロータリーは考えています。すべての母子が質の高い医療を受けれるように、そして出産で命を落とす方がいなくなり、すくすくと成長できるように私たちは支援活動を行っています。ロータリーはこんな活動をしています。教育、予防接種、出産キット、移動クリニックなどありとあらゆる方法で保持の健康を推進しています。また、女性を対象にHIV母子感染の予防、母乳による授乳、病気の予防に関する教育も行っています。母子における健康の成果として私たちロータリーは、地域社会が自力で母子の健康を守っていけるように研修と支援を行っています。持続可能な形で母子の健康を促進しています。活動例として、出産前移動クリニック。ハイチは西半球で母子の死亡率がもっとも高い国。この国でボランティアの助産師が僻地に住む母と子供に医療ケアを提供できるように、医療機器を搭載したジープを寄贈しました。可動式がん検診支援、インドにおける移動式がん検診機器の提供、また産科瘻孔の治療など。この病気は出産時に産道に穴が出来る疾患。自宅出産を安全に出来るように、ロータリー会員が300万ドルを投資して5年間の試験的プロジェクトを開始。このプロジェクトにより産科瘻孔で苦しむ女性の尊厳と希望を取り戻すため当初の目標を500人上回る1500人の治療を行って参りました。以上です。

 プログラム……………

来賓卓話

留萌商工会議所青年部

会長 川村 忠様

本日はお招きいただきありがとうございます。只今、串橋会長最終月の卓話ということでハードルを上げられ困っておりますが、ロータリークラブには大先輩方もおりますので、私がYEGを語るのは非常に僭越だと思っておりますが、私の出来る範囲でお話をさせていただきます。

留萌YEGのこれまでとこれからということで、沿革のさわりだけお話をさせていただきます。本日初めての方もおりますので、自己紹介をさせていただきます。昭和56年3月生まれの現在42歳でございます。留萌高校まで留萌で育ちまして、その後、自動車業界を転々という形で平成25年に留萌に戻ってまいりまして、現在務める川村自動車におります。平成26年に留萌商工会議所青年部のYEGに入会させて頂き、その時YEGの会長だったのが、今現在この前の席に座っています武田会員が会長さんでした。昨年、留萌にて北海道ブロック大会を開催させて頂きましたが、留萌ロータリークラブの皆様にも大変お世話になりました。令和5年に留萌YEG会長及び北海道商工会議所青年部連合会の会長も同時に仰せつかっております。この後、北海道商工会議所連合会の総会がありますので、すぐにそこに走らなければなりません。

呼称で商工会議所青年部をYEGと呼ばれますが、Young Entrepreneurs Groupの頭の文字を取ったもので、若き起業家の集団と言う意味です。YEGの組織構成についてですが日本商工会議所青年部は417単会が加盟しています。それを全国9ブロックに分けて、北海道ブロックは北海道のみ、北海道商工会議所青年部連合会の中に25単会加盟してまして、留萌YEGもその中の一つです。YEGの理念は、綱領として、「地域社会の健全な発展を図る商工会議所活動の一翼を担い、時代への先導者としての責任を自覚し、地域の経済的発展の支えとなり、新しい文化的創造をもって、豊かで住

み良い郷土づくりに貢献する」としています。

留萌YEGの沿革ですが、簡単に申し上げれば、平成3年に商工会議所青年部が設立され、平成13年に10周年記念式典を開催、平成14年に北海道ブロック大会を留萌にて開催、平成22年にも北海道ブロック大会を開催し、平成23年に創立20周年記念式典を開催いたしました。令和3年に創立30周年を迎え、昨年令和4年にまた北海道ブロック大会3回目を開催した所です。

留萌YEGビジョンについては、留萌YEG単独で作っており、私が入会する前に作られたもので、前回の平成22年のブロック大会後、留萌YEGとしてどのような活動をすれば良いか、何をビジョンとして置いていくか喧々諤々と切磋琢磨して話し合いを重ね作られたものと聞いております。まさに令和5年度がそのような状態で、昨年の大会を終えて、これから留萌YEGどうしていくか考える過渡期の年度かなと思ひ、今回皆様の前でお話をさせて頂くことに致しました。

今年度、令和5年度の留萌YEGのスローガンが「探求心・思考行動を止めずに新たなステージへ」を掲げさせて頂きました。要約すると、今ポストコロナやニューノーマルなど新しい単語をよく聞きますが、YEGとしてこの地域にどうコミットしていくか、自分たちが何を目指していくか、同世代の経済人が集まる性質を生かし、考え行動していく思いを掲げさせて頂きました。今年度は組織を3つに分け構成し、極限バイタリティ委員会、当初は組織活性化委員会と言っていましたが、委員長がバイタリティのある方で、名称を勝手に変えて正式にこの名称になりました。組織の活性化を目的とし、規約の見直しや会員拡大のための活動をする組織として、現在会員数29名になっておりますが、4月段階では25名でしたので4名増加となっております。1ヶ月で結果を出している委員会となっております。地域連携委員会と致しましては、様々な団体や地域との交流にてYEGの存在価値を高めとなっておりますが、すでに今月の27日に留萌YEGでは初めてと聞いていますがビアパーティーを開催することにしました。5

月8日に親会がビアパーティーを開催しましたが、その後なかなか他の団体が開催しないので、YEGで火付け役になろうということで企画しました。これからチケットの販売でお伺いすると思いますので、よろしくお祈りします。

続きまして資質錬成委員会ですが、これがYEGの活動の根幹である会員の資質錬成を目的とする活動をする委員会となっております、我々はまだまだ若き経営者ですので、これから色々な経験を積んで、自分を磨き上げる委員会で、現在外部講師を頼んで、色々と勉強を重ねております。その他、多団体や親会の活動への参画、私の思いはYEGを色々な所で使って頂きたいと考えています。ロータリークラブでもYEGの力を借りたいときは気軽に声をかけて頂ければと思います。

これからは私の考えるYEGの未来について少しお話をさせて頂きます。我々は経済人ですので当然、自企業にフィードバックするための研鑽を積む形になります。つづいて地域のリーダーになるための知識と人脈の調整、北海道には25単会がありますので、各単会との交流を深めて、自企業に何かフィードバック出来るように活動をしていくようにすること。現在29名に増えましたが、将来これがいつまで続くか、やはり一人一人がこの会に入っていて良かったと思えるような会でなければならぬので、会費だけ払うのではなく参加することを一番に考え、みんなが行動出来ればと思っております。会員が誇れる会であること。会員外の人から認めてもらえる会であること。この2つに共通することは、明確に目的を持ち、あきらめずに探求することを今年度強く押し出していこうと思っております。「留萌JCはよく聞くけど、留萌YEGはあまり聞いたことがないよね」とよく言われます。ですから皆様に使ってもらえるような活動をして、認知される組織になっていこうと考えます。今年度様々な場面でご協力できることがありましたら声をかけて頂きたいと思ひます。

本日は貴重な時間をいただき、ありがとうございました。

プログラム

- 本日
「理事役員退任挨拶」
- 次週予定
「ライフパートナーズデイ」

【第35回～第38回 合併号】

No.2959 第38回 6月21日

出席報告

前例会

会員総数……………25名
 出免会員……………5名
 出免出席……………4名
 基準会員出席……………19名
 出席率……………79.16%

例会/毎週水曜 12:15～13:15

幹事報告……………

- 大嶋啓介講演会の案内を受領しました。
- 北方領土総会議案の案内がきています。
- 地区ガバナー事務所より、地区委員候補のお願いがきています。

ニコニコBOX……………

前回 79,700円
 今回 6,000円
 累計 80,300円

プログラム……………

会員卓話「我が生き立ち」

吉川 淳一郎 会員

私、吉川淳一郎は1962年、昭和37年8月22日に生を受けました。「干支」は、前向きでチャレンジ精神が強く、どんなことにも信念を持って挑んでいくと言われていた「寅年」です。「星座」は、明るくポジティブな特徴を持つと言われていた「しし座」。そして「血液」は、穏やかで優しい人が多いと言われていた「O型」です。本当にそんな人間だったら良いのですが…きつとどこかで、人生の歯車が噛み合わなかったに違いないと思っています。

出身は、新潟県では一番留萌に近い所に位置する新潟県最北端の街・村上市です。村上市は冬に道路の雪を水で解かす消雪パイプが設置できる北限にあたり、また、お茶が栽培できる北限にもあたる街です。更に瀬波温泉という温泉街があり、漢数字の三に、面積の面、三本川と書いて「みおもてがわ」と読む、鮭が回帰する川、三面川が日本海にそそぐ人口5万4千人の街で

す。…留萌川をはさみ、神居岩の方向を見た時の景色は、ふるさと村上市を彷彿させてくれるものがございます。

皆さんご存じでしょうか？ 新潟県村上市は、「皇后陛下 雅子さま」の「本籍」があった街で、ご成婚の時に本籍地の抹消でマスコミに取り上げられ、話題になりました。

また、北海道ではニシンやホタテ、甘えび等とならび、シャケ・或いはサーモンも有名ですが、新潟ではシャケとは言わずサケと言います。更に、ふるさと村上市ではサケのことを「イヨ ボヤ」と言います。「イヨ」は魚、「ボヤ」も魚の意味です。つまり、サケは魚の中の魚として、地域住民に大切に崇められている魚なんです。

私は、そんな街でそのサケの加工・卸・小売業を営む家の男4人、女2人の6人兄弟姉妹の長男として生まれました。できそこないの長男だったため、自分はサラリーマンになり、弟が亡き父の後を継ぎ「千年鮭 きっかわ」という会社を経営しています。

少年時代、私は地元の村上小学校から、村上第一中学校、そして村上高校に通いました。その小学校3年生の時、いわゆる百貫デブと言われるくらい肥えていたため、父の勧めで地元の剣友会に入り、以後、大学を卒業するまで剣道を続けました。

中でも、中学校時代は仲間にも恵まれ、全国大会出場を目標に、毎日仲間と通学の往復4㎞は、かかとを上げてつまさきだけで歩き、放課後には、まず往復3㎞の河川敷をランニング。それから学校の体育館で、本番約一時間半の剣道の稽古。加えて週二回、夜には地元の剣友会で稽古と猛練習に励みました。それを神様は見えてくれました。地区大会が3位に終わり、本来は県大会には出場できなかったものが、幸

運にも繰り上げ出場。県大会では勝ち進み、奇跡的に念願の全国大会出場を果たすことができました。私の唯一の過去の栄光です。

ちなみに、2022年北京オリンピック、スノーボード金メダリストの平野歩選手は、村上第一中学校の後輩にあたります。

つづいて、高校時代の私は鳴かず飛ばず状態でした。しかし、この中学から高校まで共に剣道で汗を流した仲間の一人が、なんと今、留萌市立病院で外科医として勤務しています。彼とは早速、4月に何年振りかで再会を果たし、2人で飲みに行きました。人のご縁は本当に不思議なものです。まさかこの留萌で、あの村上の、中学・高校時代の同級生に会えるとは、です。

話を戻します。高校卒業後は2年間の浪人生活を経て、高度成長真っただ中の1983年4月に明治大学商学部に入學しました。他人よりも時間とお金をかけて大学に行かせてもらったにもかかわらず、大学時代はゼミ以外の授業にはほとんど出ず、お酒と剣道の稽古に明け暮れました。そんな生活の挙句の果てが、長男にもかかわらず家を継ぐこともせず、家を離れることになりました。

産まれた川に回帰するサケの街、サケの商売で生計を立てている家に生まれながら、戻る川を間違えた親不孝もはなはだしいサケが私です。

再び、大学時代です。昼夜逆転の生活、お昼頃に起床シタ方になると学校に向かうのが日課でした。授業が終わって帰路に着く同級生たちと毎日すれ違ひながら剣道の稽古のために、大学には欠かさず通っていました。大学3年になるとキャプテンを任されました。キャプテンは、夜には部員を飲み連れて行き、後輩にはおごらなければなりません。でも、お金の無い貧乏学生の私はバイトをしなくてはお金を捻出することができません。飲み会と飲み代捻出の両立をはかるために私はどうしたと思いますか？考え着いたのが、居酒屋の社長にお願いしてバイトをさせてもらい、その居酒屋にメンバーを招き、厨房の一番近くの席を陣取らせ飲み会を行うということでした。週2回くらいのペースで実施。暗黙の了解のもと、自分で自分用の酎ハイを作り、仲間の飲み会にも加わり、真っ赤な顔になりながらもバイトの仕事も同時進行でこなし、飲み会とバイトの両立をはかりました。今、思えばそんなことができた良い時代でした。

進級ができないかもしれないと真っ青になり、学生課に確認に行ったこともありましたが、4年でかろうじて卒業でき、1987年4月に住友生

命に入社しました。そこにもドラマがあります。本当は別の業界を希望していたのですが、本命に断られ途方に暮れ寝ていたある朝、友達から電話があり目が覚めました。仕方なく大学に行くと、住友生命で最終面接をしているから行ってみたらどうかと言われ、仕方なく向かったところ、あれよあれよと、その日の内に入社が決まってしまいました。

あの時友達からの電話が無く、あの時大学に向かわなければ、今、この場にいることはなく、奥さんも一人娘とも出会っていなかったはず。本当に人のご縁は不思議でなりません…。

会社生活は、まず竿灯祭り・燻りガッコ・稲庭うどん、そしてナマハゲで知られる、秋田が最初の勤務地です。社会人になり誰一人知り合いのいない街に行かされ、やさしさに飢えていた吉川青年は、会社でなぜかとてもやさしくしてくれる、ある女性が女神のように思えました。このひとしかいない！…その人が今でも私の奥様です。単身赴任生活が長く、絶妙な距離感を保てたことが、ひとえに夫婦が長続きできた勝因です。まあ、敗因かもしれませんが…。

この結婚と同時に転勤になりました。秋田の次は大阪本社での勤務です。その時の社宅は、奈良県のあやめ池というところにありました。あやめ池は、安部元総理が銃で撃たれたあの近鉄学園前駅の隣の駅です。学園前は何度も行ったことがある所だったので、ぞっとしました。

その奈良・大阪勤務時代に、今では31歳になり独身貴族を楽しんでいる。一人娘が生まれました。奈良・大阪もとても思い出の深い街です。

そこから、一転、今度は桜とリングで知られる青森県の弘前です。弘前城の桜はそのスケールと美しさから、日本一の桜の名所だと確信しています。弘前では、一番の下っ端の初陣支部長だった私は、早朝からブルーシートとラジオを持って、お花見の場所取りをすることが重要な役目でした。その分、桜の木の下で飲むビールの味は格別であり、忘れることができません。

青森の次は横浜です。野球の横浜ベイスターズの本拠地横浜スタジアムや日本最大の中華街の直ぐ近くで仕事をしていました。コロナの影響で閉店してしまいましたが、中華街で一番古い老舗だった「聘珍楼」というお店の15歳先輩の営業マンと知り合いになり、その方の営業マンとしての姿勢に心を打たれ、つらい時などはその方を思い出します。実際に今でも交流は続いており、留萌に転勤するにあたって、激励の電話をいただきました。ありがたい限りです。

西暦が変わり2000年4月からは、わんこ蕎麦と冷麺で知られる岩手県の盛岡で2年間勤務。続いて、同じく岩手県にある2013年のNHKの朝ドラ「あまちゃん」の舞台と天然樹脂の化石である「琥珀」で知られる久慈という港町で2度目の支部長職を担当しました。そこで、ちょうど娘が中学校に進むタイミングで仙台にマンションを購入し、以後15年続く単身赴任生活が始まります。単身で自由の身になった私は、飲み放題・食べ放題の毎日です。久慈も海産物の街です。アワビとホヤは、その5年半で一生分を食べつくしたと思います。おかげで、久慈で勤務していた2005年前後42~43歳のころには最高体重が93kgに到達してしまいました。ちなみに今は64kg前後で、当時と比べたら30kg近く体重は減っています。

続いての勤務地が札幌です。3度目の支部長職です。当時の取引先がビール園だったこともあり、ジンギスカンを食べまくりました。住まいの直ぐ近くのラーメン屋さんもお客様だったので、夕食にはラーメン・チャーハン・ギョーザをセットで出前を何度も頼みました。もし、あの頃の暴飲暴食の生活を続けていたら、今、この場に人間としてはいないだろうと思います。

続いて、兼六園と近江町市場で知られる石川県の金沢での勤務です。先日、地震で大きな被害の出た能登半島にある珠洲市の隣町には、和倉温泉の「加賀屋」という有名な温泉旅館があります。加賀屋は「プロが選ぶ日本のホテル・旅館100選」において、何と36年連続で日本一の評価を受けている旅館です。私も一度だけ宿泊したことがあります。やはり「おもてなし」はピカイチだと思います。是非、機会あれば行ってみたいと思います。

今度は再び東北です。福島県の会津若松で4度目の支部長職に就きました。会津若松は、2013年のNHK大河ドラマ「八重の桜」の舞台になった街であり、戊辰戦争の最大の激戦地です。白虎隊が自害した飯盛山の頂上に立ち、約4km先にある会津若松城＝通称：鶴ヶ城を見た時は、嫌でも歴史の転換点を想像させてくれました。

そして、勤務地の最西端広島カーブとお好み焼きの街、広島での勤務です。先日、G7の首脳が訪れた原爆ドーム・平和公園は私の通勤経路でした。毎日ドームの脇を通り、会社に通っていたことを思い出しました。

その後、事務所の移転に伴い岡山へ移りました。「晴れの国、岡山」という県のキャッチフ

レーズがあるんですが、キャッチフレーズのとおり、岡山は本当に晴れの日が多く、気候が温暖で住みやすい街でした。穏やかな瀬戸内海は、日本海とは全く異なる顔を持っています。

2018年1月からは、仙台に戻り単身赴任の解消と共に会社生活初めての自宅から通う勤務が5年3ヶ月続きました。

先月5/20の日経新聞では、「健康経営」が全国で急速な勢いで拡大・普及が進んでいると、大きく取り上げられていましたが、仙台での私の仕事の一つは、その「健康経営」推進の為のお手伝いをするのでした。

ご存じでしょうか？「健康経営」とは、経営者が率先し、「従業員の健康増進」に取り組むことが、「会社の利益を向上させると共に、従業員を大切にすることとして、イメージアップや新規の採用、今いる従業員の定着にもつながる」、と考える「経営手法」の一つです。協会けんぽ北海道で運営している、「健康 事業所 宣言」…現在、留萌でもロータリー会員企業5社を含む26法人が宣言をしています。この健康宣言を行うことが第一歩になります。そして、宣言事業所の中で、特に優れた健康経営を実践していると、公に認定された法人を「健康経営 優良法人」と呼び、会社の内外、多くのステークホルダーから高い評価を受けています。中小規模法人部門だけで、全国で約1万4千法人に拡大。北海道ではコロナ前の2.7倍の461法人に。留萌でもロータリークラブの会員企業1社を含む、3法人が認定を取得しています。

私は前任地で、健康優良法人の認定取得を目標とする企業に対し、個別のコンサルティングやサポートを数多く担当いたしました。加えて、東北6県の企業を対象にした、年2回のwebセミナーでの講師や業界団体の定例勉強会での講演なども経験してきました。

そして、昨年8月に60歳の節目を迎えました。会社の制度改正があり、希望を伝えたところ、ご縁があつて、留萌に来ることができました。同時に、前任者からのご縁で留萌ロータリークラブの一員に加えさせていただき、Vitality溢れる素敵な皆さまと出会い、お付き合いできることになり、本当に嬉しくありがたいと思っています。

少しでもロータリークラブのお役に立てるよう、そして地域のお役に立てるよう努力していきたいと思っています。あらためて、皆さまのご指導ご鞭撻、よろしくお願ひいたします。

ご清聴ありがとうございました。